初心者のためのLaTeX講座

レポート、まだWordで書いていますか? LaTeXを使えば、簡単に、美しい数式や文章を書けます。 この機会に一足早くLaTeXに慣れてみませんか? 平易な操作法をオンラインで教えます。

✓ 日時

期間:2020年7月22日(水) 12:30~13:30(1時間)

- ✓ 場所 オンライン (Zoomで行います)
- ✓ 完全予約制(先着順、前日の17時まで)

定員:5名

申し込み方法:以下URLより

https://www.library.osaka-u.ac.jp/latex apply



✓ 問い合わせ先:総合図書館学習・調査支援担当

hsanko@library.osaka-u.ac.jp

✓ 準備するもの

以下の条件を満たすご自分のノートPC

- ⇒1. LaTeXがインストールされている。 (インストールが上手くいかない方はお気軽にご連絡下さい)
 - 2. Zoomにアクセスできる



となる. (付録 B) ここで、循環 Γ は、球の自転の角速度 Ω を用いて、

$$\Gamma = \int_{S} \Omega dS \tag{53}$$

$$=\Omega \pi r^2 \tag{54}$$

とあらわすことができる。自転している球は半径の異なる円柱の積層とみなすため、 $r=r(x)=\sqrt{a^2-x^2}$ となる。従って、球にかかる揚力は、

$$L = \int_{-a}^{a} \rho U \pi \Omega(a^2 - x^2) dx \qquad (55)$$

$$= -2 \int_{0}^{a} \rho U \pi \Omega(a^{2} - x^{2}) dx \qquad (56)$$

$$= -\frac{4}{3}\pi \rho U a^3 \Omega \qquad (57)$$

となる。このように、自転している粒子に一様流がかかり、一様流と垂直な方向に揚力が働く現象は Magnus 効果と呼ばれている。

担当LS:基礎工学研究科修士2年 中塚